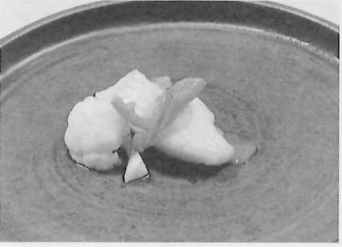


▶小野塚雄也(左)・結城靖博(右) ▶匠の守護者が「匠」を継ぐ ▶三条、バススポット、ランドルト ▶2018 YEGパントリー ▶先付け ▶国産豚角煮 ▶鯉のソテー



あんしん「391号」で紹介した「むじん商店」を運営している小野塚雄也さん(39)と結城靖博さん(37)は共に三条商工会議所青年部、通称YEG「ヤング・アントレプレナーズ(起業家)グループ」のメンバー。活動のコンセプトは「燕三条地域の発展繁栄を目指して様々な事業を行なっている。多種多様な業界経済人で組織される45歳までの青年経済人」とある。燕三条地域の発展には若い人たちの自由な発想と、実際に描いたビジョンを実現させる行動力が必要不可欠である。燕三条地域を盛り上げていくお二人に「結城さん、代表を務める「遊亀楼魚兵」でお話を



伺った。11月6日(木)には三条市中央商店街と一ノ木戸商店街の店舗や寺院などを撮影スナップに、マンガやアニメ、ゲームのキャラクターに扮して「コスプレ」のイベント「コス☆サン」を開催した。テレビアニメのキャラクターや「鬼滅の刃」に登場するキャラクターに扮した若者70人程の参加者が集まりました。目的は商店街に活気を呼び込むことと、撮影した写真をSNSへ会員制交流サイト「LINE」にもらいつながる。燕三条地域の企業を擬人化した「匠」の守護者カード「匠の守護者」を発売。企業の商品や仕事に用いる道具などを手にし、社員の制服をモチーフにしたコスチュームを着たキャラクターに注目が集まった。令和2年はSNSを活用し、「匠の守護者」トレーニングカードのキャラクターになりきるコスプレコンテストを開催した。

青年部のキャラクターは燕三条戦力「シレンジャー」で、燕三条地域を災害から守る二人組のヒーローの力シールドとカギスルーで青年部のイベントに必ず登場している。令和3年には地域文化開拓委員会が、

- ① 本成寺(西本成寺)
  - ② 日吉神社・稲荷神社(元町)
  - ③ 万葉の藤(井栗)
  - ④ 保内三王山古墳群(上保内)
  - ⑤ 大崎山公園(東大崎)
  - ⑥ 道心坂(月岡)
  - ⑦ 五十嵐神社(飯田)
  - ⑧ 八木真&八木神社(北五百川)
- 三条商工会議所青年部の会員数は103名。6つの委員会を年間15以上の事業を行なう。

結城靖博さんは入会9年目。青年部では異なる年代や考えの人と一緒に活動できるのが、今までにない気づきを得られない活動を通して自分自身の可能性が広がって行きます。自分たちが楽しいかどうかです。小野塚雄也さんは「とあるECモールに参加した時にへ村の鍛冶屋」を運営する山谷さんにお会いしました。山谷さんが展開するビジネスモデルに興味を持ちました。繋がりを持ちたいために入会しました。二人共にYEG活動に夢を託す。

あんしん 取材班が行く

## YEG 三条商工会議所青年部会員の 小野塚雄也さん・結城靖博さん を遊亀楼魚兵(三条市)に訪ねて

### 遊亀楼魚兵

三条商工会議所青年部副会長の結城靖博さんは遊亀楼魚兵の代表取締役。魚兵は明治元年創業で150年の歴史がある。11月11日の取材時のお品書きは、先付け「赤クラゲ、煮菜、牡蠣、土瓶蒸し、蒸し物、鯛、鯛、南蛮海老、煮物、国産豚角煮、焼き物、鯉のソテー、食事、とろろ蕎麦、甘味、ミルクシェイク」など。どれもこだわって代々受け継がれてきた日本料理の上品さと歴史を感じることができた。

